

小児看護学概論	1年・後期	1単位 30時間	准教授 柴崎由佳
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310791

### 1. 授業のねらい・概要

学生が小児看護の理念と変遷，子どもの権利について学び，子どもの権利を擁護する小児看護のあり方について理解することを目的とする。また，子どもの健康問題や子どもを取り巻く社会・医療，子どもの法律・施策について学び，小児看護の現状と課題を理解することを目的とする。さらに，小児看護で用いられる理論や子どもの成長発達について学び，子どもやその家族の発達課題，成長発達を支援するために必要な基礎的知識を身に着けることを目的とする。

### 2. 学修の到達目標

1. 小児看護の理念と変遷について述べるができる。(D-2)
2. 子どもの権利を擁護する小児看護のあり方について述べるができる。(D-2)
3. 子どもと家族を取り巻く社会・医療の現状と課題について述べるができる。(D-2)
4. 子どもとその家族の発達課題を捉えよときの看護理論の活用方法を述べるができる。(D-2)
5. 子どもの成長発達とその評価方法について説明することができる。(D-2)
6. 子どもと家族の生活について述べるができる。(D-2)
7. 子どもと家族に関する近年の問題についての考察を述べるができる。(D-2)

### 3. 授業の進め方

テキストに基づくパワーポイント資料を用いた講義と，個人ワークおよびグループワークを併用した演習を中心に進める。また，視聴覚教材も取り入れ，学生が主体的に学習を進められるように努める。

#### 【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして，調査学習，双方向アンケート，グループワーク，プレゼンテーション，リフレクション，レポートを用いる。

#### 【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Classroom等による学習課題や学習教材の提示・配信，学習課題の提出等

### 4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	小児看護とは	講義	予習：小児看護とは部分を読む。 復習：授業終了時に配布する振り返り問題を解くことで，学習した内容を振り返る。	柴崎由佳
2	小児看護の歴史と意義，子どもの権利と看護	講義	予習：小児看護の歴史と意義，子どもの権利と看護部分を読む。 復習：授業終了時に配布する振り返り問題を解くことで，学習した内容を振り返る。	柴崎
3	小児看護と法律・施策	講義	予習：小児看護と法律・施策部分を読む。 復習：授業終了時に配布する振り返り	柴崎

			問題を解くことで、学習した内容を振り返る。	
4	小児看護で用いられる理論	講義	予習：小児看護で用いられる理論部分を読む。 復習：授業終了時に配布する振り返り問題を解くことで、学習した内容を振り返る。	柴崎
5	子どもの成長・発達の原則	演習	予習：成長発達の原則部分を読む。 復習：演習内容を振り返る	柴崎
6	乳児期の子どもの成長・発達と看護	演習	予習：乳児期の子どもの成長・発達と看護部分を読む。 復習：演習内容を振り返る。	柴崎
7	幼児期の子どもの成長・発達と看護	演習	予習：幼児期の子どもの成長・発達と看護部分を読む。 復習：演習内容を振り返る。	柴崎
8	学童期の子どもの成長・発達と看護	演習	予習：学童期の子どもの成長・発達と看護部分を読む。 復習：演習内容を振り返る。	柴崎
9	思春期の人々の成長・発達と看護	演習	予習：発表準備と練習をする。 復習：発表での学びを課題に追記する。	柴崎
10	発育の評価	演習	予習：発表準備と練習をする。 復習：発表での学びを課題に追記する。	柴崎
11	子どもの成長発達と看護まとめ①	講義	予習：課題の見直しをする。 復習：授業終了時に配布する振り返り問題を解くことで、学習した内容を振り返る。	柴崎
12	子どもの成長発達と看護まとめ②	講義	予習：課題の見直しをする。 復習：授業終了時に配布する振り返り問題を解くことで、学習した内容を振り返る。	柴崎
13	子どもと家族に関する近年の問題	講義	予習：関心のある小児看護の近年の問題を考える。 復習：授業終了時に配布する振り返り問題を解くことで、学習した内容を振り返る。	柴崎
14	子どもと家族に関する近年の問題	演習	予習：関心のある小児看護の近年の問題を考える。 復習：グループワークと演習内容を振り返る。	柴崎
15	子どもと家族に関する近年の問題	演習	予習：グループでの意見交換の準備。 復習：グループワークでの学びを振り返る。	柴崎

## 5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は2/3以上出席した者）70%，課題30%，総合的に評価する。但し、どちらか一方でも合格基準（60%）に満たない場合は単位認定できない。期限までに提出されない課題・レポートがあった場合、単位認定できないことがある。課題・レポートの内容・配点・提出方法・提出先等は授業内で指示する。

成績評価は、「2.学修の到達目標」に示した評価観点毎に、ルーブリック評価（到達はA評価）とする。尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。

定期試験の出題方法等は、事前に口頭で提示する。

- ・課題1：子どもの成長発達と援助（A3：3枚，個人ワーク，グループワーク）
- ・課題2：子どもの成長発達と援助発表会用PowerPoint
- ・課題3：子どもに関するニュースPowerPoint

・課題4：子どもと家族に関する近年の問題グループディスカッション記録

## 6. テキスト・参考文献

テキスト：中野 綾美編集（2025）ナーシング・グラフィカ小児看護学① 小児の発達と看護  
メディカ出版

参考文献：奈良間美保他著（2025）系統別看護学講座 小児看護学1 小児看護学概論・小児臨床看護学  
総論 医学書院

## 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準ずる程度の具体的学習内容

シラバスの授業計画の範囲および、事前事後学修（学修課題）について、最低45分の予習及び授業内容について最低45分以上の復習を行なうこと。

## 8. 受講上の留意事項

小児看護学方法論，小児看護援助技術，小児看護学実習へ進むための基盤を構築する科目であることを意識して積極的に学習すること。

グループワークは主体的，意欲的かつ協働的に参加することが重要である。遅刻，欠席および授業中の私語，授業中に授業に関連する作業以外の行動は，参加態度として評価対象とするので注意すること。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

課題・レポートの講評は講義内で行う。内容に不備があるものは再提出を求める。

試験実施の際に傾向や解答を口頭で説明するか試験実施後解答を掲示する。

## 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

本科目は必修科目である。（履修要項・学生便覧参照）

## 11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。